

これだけやればつるつる、すべすべ 足の作り方教えます。

1 STEP 角質ケア

ガサガサかかとをすべすべに整える方法

全体重を支える足裏はもっとも負担がかかり、トラブルを起こしやすい場所。
2週間に1度程度の間隔で、硬くなった角質をケアしましょう。



タオルで水気をふき取る



足浴で硬くなった角質をふやかす



ぬるま湯を入れた洗面器に、両足をくるぶしまでつける。
約5分間待ち、硬くなった角質をふやかして柔らかくする。



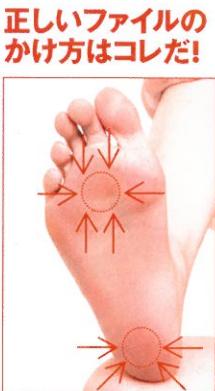
足指のつけ根も同様に行う



かかとの角質を少しづつ削る



POINT
オススメファイル



正しいファイルのかけ方はコレだ!



耐水紙やすりで
角質を優しく除去



角度のついた持ち手が使いやすい
細かい面側に丸くカーブがついているので、初心者でも簡単にファイリングができる。粗目と細目の両面構造。ビューティー フット ¥945/ビー・シャイン

ファイルはかかとや足指のつけ根、それぞれの中央に向かってかけて。一定方向だけにかけると皮膚が凹凸になるので注意。

フットケア編 MISSION.3



3つのバランスで全体重を支えている!

人は、かかと・親指のつけ根・小指のつけ根の3つのアーチでバランスよく体重を支えている。靴ズレやマメ、タコなどができる場合は、バランスがキープできていない証拠。

トラブル発生地点を見極める!

足トラブルを招く5つの要因

5

間違ったケア

角質を毎日削っている

4

間違ったサイズ選び

少し小さめサイズがイケてる!

3

ケアするのは顔とボディのみ

かかとが白くひび割れしている

2

乾燥

サンダルを履く時はいつも素足

1

歩行時の摩擦

サンダルを履く時はいつも素足

ガチガチかかと

ひび割れ

結果

底マメ

靴ズレ

フットブルー
角田いづみさん

「フットブルー青山店」エアリマネージャー。施術歴8年。「セルフケアでも効果がなく自分で手に負えない場合は、一度プロの手に任せてみることをおすすめします」。



教えてくれたのは…

ドクター・ショール ブランドマネージャー
田岡理佳子さん

「靴を選ぶ時は、ジャストフィットのサイズを選んで、試しに少し歩いてみるといいでしょう。足があまり動かず安定感の良いものなら、トラブルが最小限に抑えられます」。



角質・マッサージ・保湿ケアで足元すべて、グッズを活用してトラブル回避!

サンダルを履く季節になると、かかとのさつきやマメなど足元の悩みが急増。「人は3点のアーチで体重を支えて歩いていますが、ヒールが高い靴だとそれがなかなかキープできません」(田岡さん)。また、「5cm以上のヒールを履くと、体重の85%がつま先にかかる」といいます(角田さん)という指摘も。とはいっても、ヒールが高い靴だとそれがなかなかキープできません(田岡さん)。夏はサンダルやミュールでオシャレしたいのが女心。「インソールやパッドを使つて足への負担を減らすと、角質化や底マメなどのトラブルを事前に防ぐことができますよ」(田岡さん)。

トラブルを深刻化させないためには、角質ケアやマッサージなどのセルフケアも効果的。「角質ケアは2週間に1度のペースで行い、その後はしっかりと保湿を。角質が目立たなくて白いひびが入つている場合は、乾燥が原因なので、スクラブと保湿ケアが効果的です。根気強く��けことで、滑らかでキレイな足に戻れます」(角田さん)。